

# 楽しく知ろう！ 人類未踏の高齢時代と地域の課題

あと10年ほどすると、団塊の世代が後期高齢者の仲間入り・・・、孤独死・老老介護、介護疲れ、介護難民など益々深刻になる(25年問題)

認知症800万人の大介護時代が迫りつつあるという、要援護者支援は、災害時だけでは、すまなくなる(大介護時代)

少子高齢化が進み、多死社会を迎える日本。その上次世代を担う若い女性が仕事を求め、大都市に向かい、消滅する市町村も、でかねないという。富田林は、これから一体どうなるのだろうか(極点社会)

日本では、戦争や災害を除いては、歴史的に初めてとも言われる人口急減・多死社会の到来が今予想されています。富田林市でも既に人口減少が始まり、地元紙でも少子高齢化がしきりに記事を賑わしています。

日本は、われわれのまちは、これから一体どうなっていくのでしょうか？果たして、今までの行政サービスや地域福祉の体制だけで、新たな状況に対応できるのでしょうか？

将来を読み解く3つのキーワード(25年問題・大介護時代・極点社会)を通して、これからどんな社会が訪れるのか？それらの社会の変化に対応するには、どんな仕組みや対応が今求められているのか？行政と市民の協働と役割分担はどうあるべきなのか？一人ひとりの市民や町会・自治会は、どのような役割を果たすべきなのか？この分野の代表的専門家であり富田林の抱える問題にも造詣の深い小野先生のお話をお伺いし、一緒に考えてみたいと思います。

皆さまのご参加をお待ちしております。

●日時 2015年2月8日(日) 午後1時半～3時半

●場所 富田林市消防署 4階 講堂

(お車の場合は、市役所第1・2駐車場をご利用ください。有料化に伴い、駐車券を受付までお持ちください。)

●講師 小野 達也先生(大阪府立大学 人間社会学部准教授)

●定員 100名

●主催 富田林市町総代会

●後援 富田林市、富田林市社会福祉協議会、富田林市民生委員児童委員協議会、富田林市自主防災会、富田林市市民公益活動支援センター

問合せ:富田林市 市民人権部 市民協働課 TEL:0721-25-1000(473)